

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル

○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県) 第1～10週
	第9週	第9週	第10週	増減	第9週	第10週	増減	第9週	第10週	増減	第9週	第10週	増減	第9週	第10週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(47)			(20)			(4)			(10)			(13)			
インフルエンザ	29384 5.93	558 ◎11.87	425 9.04	▼	208 ◎10.40	169 8.45	▼	52 ◎13.00	39 9.75	▽	159 ◎15.90	133 ◎13.30	▼	139 ◎10.69	84 6.46	▼	11092
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	1488 0.47	2 0.07	2 0.07			1 0.08	△	1 0.33		▽	1 0.17	1 0.17					68
咽頭結膜熱	1056 0.33	14 0.47	17 0.57	△	9 0.69	13 1.00	△				5 0.83	3 0.50	▼		1 0.13	△	126
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8576 2.71	150 5.00	155 5.17	▲	72 5.54	69 5.31	▽	13 4.33	20 6.67	△	50 ◎8.33	49 ◎8.17	▼	15 1.88	17 2.13	▲	1135
感染性胃腸炎	18843 5.95	305 10.17	254 8.47	▽	121 9.31	95 7.31	▽	12 4.00	14 4.67	▲	141 ◎23.50	113 ◎18.83	▽	31 3.88	32 4.00	△	2137
水痘	895 0.28	11 0.37	6 0.20	▼	4 0.31	2 0.15	▽	1 0.33		▽	6 ○1.00	3 0.50	▼		1 0.13	△	134
手足口病	417 0.13	9 0.30	2 0.07	▼	2 0.15	1 0.08	▼	7 2.33	1 0.33	▽							55
伝染性紅斑	1801 0.57	49 ◎1.63	58 ◎1.93	△	33 ◎2.54	45 ◎3.46	△	6 ◎2.00	3 ◎1.00	▽	5 0.83	8 1.33	△	5 0.63	2 0.25	▽	556
突発性発しん	1078 0.34	15 0.50	23 0.77	▲	6 0.46	11 0.85	▲	1 0.33		▽	3 0.50	9 1.50	△	5 0.63	3 0.38	▽	142
ヘルパンギーナ	83 0.03																11
流行性耳下腺炎	286 0.09	3 0.10	3 0.10		1 0.08	1 0.08		1 0.33		▽	1 0.17	1 0.17			1 0.13	△	16
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	4 0.01																
流行性角結膜炎	342 0.49	1 0.13		▼	1 0.25		▼										47
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	140 0.29	6 0.60	2 0.20	▽	4 1.00		▽				2 1.00	2 1.00					10
クラミジア肺炎	-																
マイコプラズマ肺炎	96 0.20	5 0.50	3 0.30	▽	3 0.75	3 0.75								2 0.67		▽	24
細菌性髄膜炎	12 0.03																2
無菌性髄膜炎	13 0.03																1

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	2			2	
	疑似症患者		1	1		
E型肝炎	患者				3	※内、第9週追加報告1人。
後天性免疫不全症候群	無症状病原体保有者	1				
百日咳	患者	3				ワクチン接種歴:4回 3人。小児 3人。

<通信欄>

※トピックスでインフルエンザ、伝染性紅斑について掲載しています。
 (インフルエンザの迅速キットによる型別、集団発生状況については2ページをご覧ください。)

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙をご覧ください。

※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ	2	7	26	26	31	22	33	34	27	25	21	84	9	15	
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
	17	17	8	7	8	6									425
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症			1	1											2
咽頭結膜熱			1	4		7	2	1	2						17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			4	8	14	22	30	21	16	13	6	21			155
感染性胃腸炎	3	15	32	25	24	27	33	26	14	8	6	28	2	11	254
水痘						2	1	1		1	1				6
手足口病					1			1							2
伝染性紅斑			5	3	5	11	13	7	3	6	2	3			58
突発性発しん		7	14	2											23
ヘルパンギーナ															
流行性耳下腺炎						1		1			1				3

< 平成31年1月 月報 >

2019年2月27日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～1月
	12月	1月	12月	1月	12月	1月	12月	1月	12月	1月	
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数 16	10	7	8			3		6	2	10
	定点当り 1.60	1.00	1.75	2.00			1.50		2.00	0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数 6	7	2	3	1		1	4	2		7
	定点当り 0.60	0.70	0.50	0.75	1.00		0.50	2.00	0.67		
尖圭コンジローマ	報告数 4	3	2	3			1		1		3
	定点当り 0.40	0.30	0.50	0.75			0.50		0.33		
淋菌感染症	報告数 1	3		2					1	1	3
	定点当り 0.10	0.30		0.50					0.33	0.33	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数 4	7		1					4	6	7
	定点当り 0.40	0.70		0.25					1.33	2.00	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数 22	19	9	13	1		2		13	3	19
	定点当り 2.20	1.90	2.25	3.25	1.00		1.00		4.33	1.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数										
	定点当り										

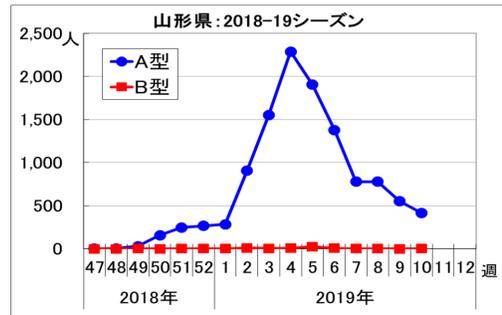
< トピックス >

インフルエンザ情報

第10週の県平均のインフルエンザ定点当たり報告数は9.04人で、警報終息基準値を下回りました。

- ・警報開始基準値:30人 警報終息基準値:10人 注意報基準値:10人
- ・第10週 定点当たり報告数 (山形県:9.04人)
- 村山:8.45人、最上:9.75人、置賜:13.30人、庄内:6.46人

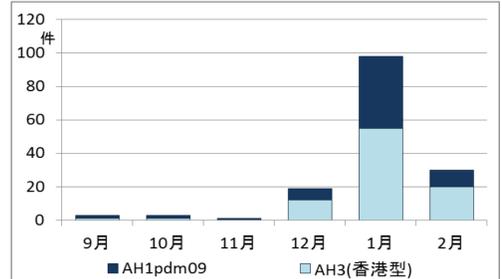
1 迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数(第10週)



	A型	B型
村山	167	0
最上	39	0
置賜	133	0
庄内	78	2
計	417	2

※型別不明:6件

2 インフルエンザウイルス検出状況(衛生研究所 3月6日現在)



ウイルス型	検出数
A型	
AH1pdm09	65
AH3(香港型)	89
B型	
B型(山形系統)	0
B型(ピクトリア系統)	0

※地区別のインフルエンザウイルス検出状況については、衛生研究所HPをご覧ください。

3 集団発生情報(山形県健康福祉企画課まとめ 第10週)

	村山	最上	置賜	庄内	合計	前週
幼稚園・保育所					0	7
小学校	4		2	3	9	7
中学校	1	1			2	2
高校					0	0
福祉施設				1	1	1
合計	5	1	2	4	12	17

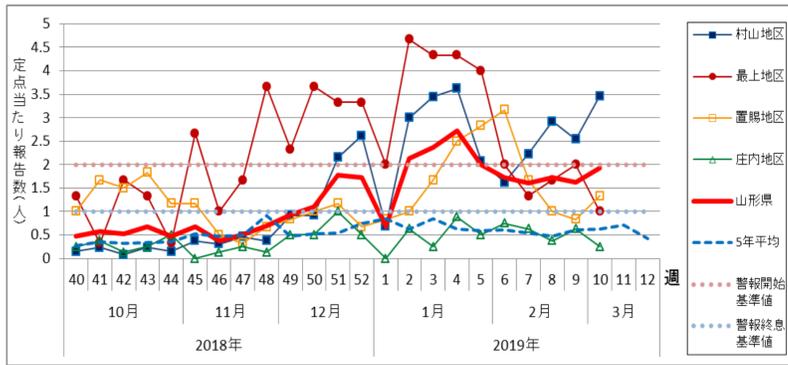
※数字は施設数(措置なしを含む)

伝染性紅斑(りんご病)情報

第10週の県平均の伝染性紅斑定点当たり報告数は1.93人で、9週連続で警報レベルとなっています。

- ・警報開始基準値:2人 警報終息基準値:1人
- ・第10週 定点当たり報告数(山形県:1.93人)
- 村山:3.46人、最上:1.00人、置賜:1.33人、庄内:0.25人

・定点当たり報告数の推移(山形県)



伝染性紅斑とは

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19に感染することによっておこる感染症です。典型例では両頬がリンゴのように赤くなることから、「りんご病」とも呼ばれます。

《症状》10～20日の潜伏期の後、両頬に鮮明な赤い発疹が現れ、続いて手足にもレース様の発疹が現れます。なお、頬に発疹が現れる前に風邪の様な症状がみられ、この時期に感染力が最も強くなります。発疹が出て伝染性紅斑と診断された頃には、感染力はほぼなくなっています。予後は通常良好ですが、妊婦が感染した場合、胎児水腫や流産を起こすことがあるので注意が必要です。

《予防法》伝染性紅斑は、感染力のある時期には特徴的な症状を示さないため、日頃からの手洗い・うがいが重要です。

